

1. サークル名

Passage(ぱさーじゅ)

2. 担当者

電気通信大学ジャグリングサークルPassage部員7名
 西川 真帆 (代表) 情報理工学域Ⅱ類 3年
 中澤 優伸 大学院情報理工学研究科情報学専攻 2年
 小野口 貴仁 情報理工学部知能機械工学科 4年
 橋本 理公 情報理工学域Ⅱ類 3年
 杉野 恵祐 情報理工学域Ⅲ類 3年
 中島 健輔 情報理工学域Ⅰ類 1年
 他1名

3. 活動テーマ

富士見児童館ジャグリングサークル

4. 実施日時

平成30年10月3日、10日、17日、24日
 平成30年11月7日、14日、28日
 平成30年12月5日、12日
 平成31年1月9日、16日、23日、26日(9:30~11:00)、30日
 平成31年2月6日、13日
 各16:00~17:00 全16回

5. 実施場所

調布市立富士見児童館

6. 活動テーマの概要

平成31年2月17日(土)12:45~調布市グリーンホール大ホールにて行われる児童館交流事業「調布市児童館交歓フェア」に出演する小学生に、ジャグリングを教える。

参考：

児童館交歓フェアについてのWebサイト(平成29年のもの。平成31年のWebサイトはありませんでした。)

<http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1484531581019/index.html>

7. 実施報告

(1) 参加者：富士見児童館の小学生2年生から6年生まで21人

(2) 実施内容：4種類のジャグリング道具（ボール、ディアボロ、ポイ、フラワースティック）でのパフォーマンスの指導

- ・ジャグリングの体験
- ・ジャグリングの技の練習の指導
- ・交歓フェアでのジャグリングパフォーマンスの練習の指導

(3) 活動について

10年ほど前から毎年おこなっている活動のため、滞りなく実施することができた。各回は次のように行った。

- ・初回：ジャグリングの体験。40人の児童が参加。
- ・2回目以降：初回に参加した児童の中から21人が正式なサークルメンバーとして決定した。4種類のジャグリング道具ごとにグループをつくり、その道具の技を習得し、交歓フェアでの発表に向けて練習を行った。
- ・14~16回目：交歓フェアでの発表と全く同じ流れの練習を行うようになり、完成度の高いパフォーマンスができるようになった。
- ・複数回参加している児童と初めて参加する児童で技能に差があり、また、小学2年生から6年生までお体格に差がある中で、ジャグリングを教えることは難しかった。しかしそこで、個人の能力に合わせた指導や発表内容を考えることで、参加者全員が楽しめる活動を行うことができた。
- ・約半年という長い期間この活動を実施することにより、小学生にPassageのメンバーや電気通信大学のことを覚えてもらえているようだ。そのため、富士見児童館の小学生とその保護者が15人ほど、調布祭でのPassageのジャグリングパフォーマンスを見に来てくれた。このように、地域貢献活動によって私たちにも嬉しいことがあると、活動をしてよかったなと感じる。今後もこの「富士見児童館ジャグリングサークル」を続けていく予定だ。

以下の写真は、活動のようすである。



【フラワースティックの練習の様子】

【ボールの練習の様子】



【ディアボロの練習の様子】

【ポイの練習の様子】